

令和3年度第三期特別支援教育専門研修において 肢体不自由教育専修プログラムを受講する方へ

1. 講義に関連する資料の準備について

以下の講義に関連した資料について、それぞれ準備の上、ご提出ください。

開講日当日までに提出いただくものと、講義の際に持参いただくものがありますので、ご留意ください。

なお、いずれの資料も本研究所の研究活動推進のための参考資料として活用させていただく可能性もありますので、ご承知おきください。

開講日（1月11日火曜日）までに提出いただくもの

(1) 「小・中学校に在籍する肢体不自由児の学びを支援する特別支援学校のセンター的機能」協議資料

上記講義の中で、研修員の勤務校における小・中学校との連携や支援の現状と課題を基にグループ協議を行いますので、以下の資料を各自ご提出ください。

①別紙様式に沿った協議資料（電子ファイル）

②協議の際に補助となる資料（※もしあれば）

勤務校のある地域の小・中学校（特別支援学級）や、勤務校と小・中学校との連携や支援に関する資料があれば、電子ファイルを各自ご提出ください。

(2) 「教育課程の編成 ー特別支援学級を含むー」協議資料

上記講義の中で、研修員の勤務校における教育課程編成の現状を基にグループ協議を行いますので、勤務校の教育課程に関する資料（学校要覧の当該ページのPDF等）を各自ご提出ください。

(3) 「肢体不自由教育における移行・就労支援の在り方」協議資料

上記講義の中でグループ協議を行いますので、別紙様式に沿った資料を電子ファイルで各自ご提出ください。

実地研修（2月15日火曜日）当日に持参いただくもの

・実地研修「肢体不自由児・者の自立と社会参加を支える地域資源」協議資料

上記実地研修の中でグループ協議を行いますので、別紙様式に沿った資料を各自10部ずつ紙媒体で実地研修当日、会場にご持参ください。来所研修が中止となった場合は、別途ご連絡します。

2. 講義に関連する教材等について

(1) 「肢体不自由教育における教材作成の意義と活用について」では演習(実習)が中心となります。折り紙数枚、ハサミをお手元に各自ご用意ください。

(2) 「重い障害がある子供のPerson-Centered Planningに基づく教育実践」では、図書『ぱれっと(PALETTE)〜子どもが主体となる教育計画と実践を目指して〜(ジアース教育新社)』を使用します。本がなくても受講できますが、お持ちの方は、お手元にご用意ください。

(3) 「障害の重い子供の目標設定と学習評価」では、図書『障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版 授業における「Sスケール」の活用(慶應義塾大学出版会)』を使用します。本がなくても受講できますが、お持ちの方は、お手元にご用意ください。

(4) 「教育課程の編成 ー特別支援学級を含むー」では、図書『特別支援教育のカリキュラム・マネジメント 段階ごとに構築する実践ガイド(慶應義塾大学出版会)』を使用します。本がなくても受講できますが、お持ちの方は、お手元にご用意ください。

(5) 「肢体不自由のある児童生徒の文字・数の学習につながるレディネスの指導」では、後日提供される教材型紙のデータに基づいてデータを印刷し、可能であれば、単語構成板と文字カードは厚紙に印刷か、型紙を厚紙に貼るかにしておいてください。

*準備物：白紙を数枚、のり、はさみ、テープ、カッターとカッターシート、マジックかサインペン
追加があれば、別途お知らせいたします。

(6) 来所時及びオンライン講義の両方で身体を動かす講義や演習があります。身体を動かしやすい服装、体育館履きをご用意ください。

(7) 下記に示した学習指導要領及び各種解説をお手元にご用意ください。(データでも可とします。)

平成29年公示 小学校学習指導要領

平成29年公示 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領

平成29年公示 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領解説(総則編・各教科編・自立活動編)

平成31年公示 特別支援学校高等部学習指導要領

<本件に関する連絡先>

肢体不自由教育専修プログラム代表

インクルーシブ教育システム推進センター 生駒良雄

(E-Mail: ikoma@nise.go.jp)

令和3年度第三期専門研修 肢体不自由教育専修プログラム

【様式1】 「小・中学校に在籍する肢体不自由児の学びを支援する特別支援学校のセンター的機能」
協議資料

勤務校名		受講番号		氏名	
------	--	------	--	----	--

1. 勤務校の学区の市区町村数 ()
2. 勤務校が行う地域支援の対象としている市区町村数 ()
3. 勤務校の支援地域における公立小・中学校等数 小 () 校・中 () 校・小中一貫校 () 校
4. 支援地域内の特別支援学級等を設置する小・中学校等の数

(1) 以下の①～⑧の学級等を設置する学校数

対象とする障害種等	小学校数	中学校数	小中一貫校数
① 知的障害			
② 肢体不自由			
③ 病弱・身体虚弱			
④ 弱視			
⑤ 難聴			
⑥ 言語障害			
⑦ 自閉症・情緒障害			
⑧ 通級による指導 (うち、肢体不自由)	()	()	()

5. 交流及び共同学習

(1) 小・中学校等との学校間交流の年間延べ回数 小 () 回・中 () 回・小中一貫校 () 回
高 () 回

(2) 勤務校幼児児童生徒の居住地校交流実施人数

幼稚部 全 () 名中 () 名 小学部 全 () 名中 () 名
中学部 全 () 名中 () 名 高等部 全 () 名中 () 名

(3) 勤務校等の学区内での副次的な学籍の有無、ある場合はその名称と概要。

6. 勤務校によるセンター的機能としての小・中学校等への支援の状況について

(1) センター的機能を推進するための勤務校内の体制整備状況 (学校経営方針での位置づけ、担当分掌の位置づけ、担当者の専任化・授業時数の減免状況等)

(2) 勤務校に設置する障害種と支援対象としている障害種の状況

(3) 支援地域内の小・中学校に在籍する肢体不自由児の状況と支援ニーズを把握する取組状況

(4) 小・中学校に在籍する肢体不自由児への主な支援の内容

(5) 小・中学校に在籍する肢体不自由児へ支援に関する成果と課題

(6) 幼稚園や高等学校、大学等に在籍する肢体不自由児の支援実績があれば概況を教えてください。

7. 今後に向けて

小・中学校に在籍する肢体不自由児の支援において、特に大事にしたいこと、力を入れたいこと等にはどのようなことがありますか？

指定された日までに提出をしてください。

「肢体不自由教育における移行・就労支援の在り方」協議資料

【事前課題】

受講番号

所属校名

氏名

標記の講義について協議の参考にするため、研修員及び所属校のニーズについて、可能な範囲でまとめてください。なお、本資料は、本専門研修肢体不自由教育プログラム受講者及び外部講師とも共有しますので、個人が特定されるような情報が含まれないようご注意ください。

1. 就労に関して関心のあることを教えてください。

2. 就労を見据えた学校段階での取組について教えてください。

実地研修「肢体不自由児・者の自立と社会参加を支える地域資源」協議資料

【事前課題】

受講番号

所属校名

氏名

肢体不自由児・者が生涯を通じてスポーツや芸術文化活動などに親しみ、豊かな生活を営みながら自立と社会参加を充実させるための課題や改善に向けた取り組みなどについて協議する予定です。その基礎資料とするために、可能な範囲でまとめてください。なお、本資料は、本専門研修肢体不自由教育プログラム受講者及び見学予定施設の担当者とも共有しますので、個人が特定されるような情報が含まれないようご注意ください。

1. ご自身の所属する自治体にある、肢体不自由児・者が参加可能なスポーツや芸術文化活動の運営や推進に取り組んでいる施設や団体等の概況を教えてください。

2. 在籍する児童生徒が生涯を通じてスポーツや芸術文化活動に親しみ、豊かな生活を営むことができるように、貴校での取り組みを教えてください（予定や計画段階のものも含む）。